

第27号

平成22年 8 月

発行 高知厚生病院  
広報委員会

◆ 高知厚生病院の理念・基本方針 ◆

理 念

私たちは、安全かつ質の高い医療を提供し、皆さまに信頼される病院を目指します。

基本方針

1. 患者さまとご家族、更に地域の皆さまの幸せのための医療を実践します。
2. 患者さまの権利を尊重し、真摯かつ温かい態度で接し、心と心が通い合う医療を実践します。
3. 自己研鑽に努め、更に発展向上を目指します。
4. 地域の医療機関や施設と連携し、効率的な医療を目指します。
5. 地球環境に留意し、災害への備えを怠りません。

## 一人ひとりが大切

副院長 山口 龍彦



今年の「日本ホスピス在宅ケア研究会」は7月10日、11日の両日、鳥取市で開催された。ホスピス医で作家の徳永進さんが大会長を務められ、

テーマは「いのちの おわりに みみを すます」。

全国からたくさんの参加があり、会場の「とりぎん文化会館」には約4000人が集まって、各会場は立錫の余地もないほどのにぎわいであった。

この大会では職業人としての立場を超え、お互いに胸襟を開いて学びあうという趣旨から「先生」という言葉が禁句になっていて、例えば、つい、徳永先生！と言ってしまうとホスピス基金に100円を寄付しなければならないというユニークな決まりがある。服装もカジュアルが推奨されて、ノーネクタイでの参加である。

私もこの大会で徳永大会長から一つの役割を与えていただいた。「山口龍彦さんと末永和之さんと皆で語り合う」というプログラムで、私と末永さんが語り合いながら時々会場に集まった方々の意見も聞きながら進めるというものだ。末永さんは山口赤十字病院のホスピス病棟を立ち上げた方で、もう20年以上もホスピス・緩和ケアの普及に尽くしてこられた。私が医師としても、人生の先輩としても尊敬している方で、こんな形でご一緒させていただいたのは大変光栄なことであった。

司会にしたがい、2人がどのようにホスピスにかかわるようになったかをテーマとした自己紹介のあと、ホスピスの心についての話題となった。

ホスピスでは一人ひとりを個性ある存在としてとても大切に作る。がんを持っていたとしても、その人が最期までその人らしく生きられることが大切で、ホスピスとはそれを支える働きである。他人の迷惑とならず、病棟業務に支障が出ない範囲ではあるが、その人のご要望は最大限かなえてあげたい。

---

晩酌されたい？ どうぞ、どうぞ。いい徳利あります。チンしましょうか。

海を見に、ドライブ行きたい？ どうぞ、どうぞ。酸素持ってゆきましょう。

お隣のスーパーにお買い物に行かれますか？ じゃ、ボランティアさんにお着替え手伝ってもらって、車いす押してくれるよう手配しましょう。

花嫁衣装を着て写真とるのが夢だった？ じゃ、6階の礼拝室に衣装屋さんと写真屋さん呼んじゃいましょう。

もちろん、このようなご注文が出てくるのは、痛みや体の辛さがなく、気分的にも前向きの時である。症状コントロールが上手くいくと、病気ではあっても、その人の人生の時間とでも呼べるような「とき」をホスピスのスタッフは共に過ごすことができる。

だから、ホスピスケアは、究極の個別ケアであるといってもよい。

では、一人ひとりの存在そのものを大切にしようという心、それはホスピスマインドといってもよいが、いったいどこから生まれてくるのであろうか。

私たちは、患者さんやご家族のみならず、お互い一人ひとりが尊い存在だと思えるから、自然に大切にすることができるのであって、ここに嘘や無理があると、心からのケアはできない。

例えば、唯脳論という立場がある。脳が働いているから人間としての心が発生するのだという考え方である。

この考え方は、医者の中にも支持する人たちが結構多いのだが、「人間の心があるから、人間は尊い」のであるならば、事故や病気によって脳が働かなくなってしまった人たちは、心を失い、その結果、必然的に人としての尊厳を失ってしまう。

また、脳腫瘍や脳転移によって正常な脳組織の一部を失った人たちは、その心の一部を失うことになり、人間としての完全な尊厳性を保てないことになるだろうし、病気の進行とともに人間としての尊厳を失い続けてゆくことになる。

もし、私が唯脳論の立場に立つとしたら、脳が働かなくなった人、つまり、話もできず、ただ息をしているだけの人がいたとして、その人を尊厳ある存在と認め、心を込めてお世話できる自信はない。また、脳が働かなくなる日が間近に迫った「死に逝く人」と親しくお付き合いすることもできないだろう。

だから、ホスピスマインドは唯脳論の立場をとらない。私たちが、どんな病気の時にでも、あるいは息が止まり、心臓がその鼓動を停止した時にでも、その人が大切に、尊い存在であると思えるのは、その人がタマシイとしての存在であるからだ。その体には、一人の人間のタマシイが宿っている。だから、その人が大切に、だから、ホスピスケアに繋がってゆく。

大筋、このようなことを私は話したのだが、末永先生も賛同して下さり、このようにおっしゃられた。

「私たちは、無限の世界からこの世に有限の姿形で生まれ、そしてひとり一人がいただいた使命を果たし、また無限の世界に帰ってゆくのだと思います。いのちは永遠であり、自分のこの世での終わりがそのまま無になるのではないと思います。みんな、悠久の時を越えて、いのちは連なっているんだということですね。」

私は、今流行の「スピリチュアルケア」とは、スピリット（タマシイ）に対するケアであると思っている。





徳永進先生の野の花診療所をどうしてもこの目で見てみたい！  
私はこんな思いから今回日本ホスピス在宅ケア研究会IN鳥取に参加しました。そして今回は徳永先生が大会長です！間近で先生を拝見できる良い機会でした。私は7年前に徳永先生の野の花診療所の1日と言う本に出会いました。その本を読んだ時こんな先生がほんとにいるのか？ほんとにこんな診療所があるのか？存在するならばこの目でいつか確かめたいと思っていました。

今回念願叶い先生の姿を間近で拝見でき、野の花診療所にも見学に行かせていただきました。先生自身も野の花診療所も私が思い描いていた理想そのものでした。長年あたためてきた見学の夢は果たされ、しかも美しい記憶の1つになりました。鳥取大会の内容も大変充実した良いものでありましたが、私の中では長年の願いが叶ったとても思い出深い鳥取になりました。

追伸 鳥取砂丘と大山にも行きました！勉強に観光に、と充実した研修旅行でした（\*^\_^\*）

## 外来アンケート報告

### 外来で診療を受けた患者さまを対象にアンケート調査を行いました

去る平成22年6月22日（火）当院の外来で診療を受けた患者さまを対象にアンケート調査を行いました。集計結果の一部をご報告させていただきます。

①待ち時間については、診察までは**10分以内（38%）・30分以内（41%）・1時間以内（17%）**。

②診察後会計までは、**10分以内（48%）・20分以内（35%）・30分以内（4%）・30分以上（3%）**。待ち時間の項目に対しては、ほぼ30分以内の待ち時間で対応出来ている結果となりました。

③待ち時間をどのように感じられますか？に対しては、**待ち時間は長く負担である（10%）、ある程度の待ち時間は仕方ない（59%）、待ち時間は苦にならない（14%）、待ち時間はほとんどない（14%）**。

ある程度の待ち時間は仕方ないと思っている方が一番多い結果となりましたが、30分を超えると長く負担に感じる方も多いので、出来るだけ30分以内に対応出来るように努めたいと思います。

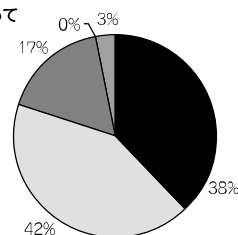
各スタッフの対応面については、回答頂いたどの項目も満足・やや満足が85%で概ね良い評価をいただきました。これからも接遇の向上、笑顔を大切にサービスの向上に努めてまいります。待合設備等についても、概ね良い評価を頂きました。

④全体的な満足度については、全体的に良い評価を頂いておりますが、今後も皆さまに信頼される病院を目指し、出来るだけ満足して頂けるように日々の業務の中で、より良い患者さまサービスを行えるように改善をしていきたいと思っております。

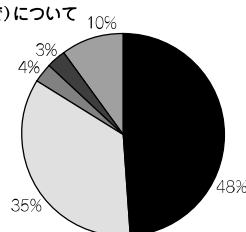
お気づきの点がございましたら、お気軽に職員までお申し出下さい。アンケートへのご協力ありがとうございました。

（広報委員会）

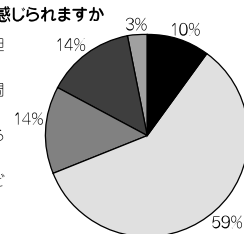
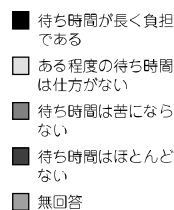
①待ち時間（診察まで）について



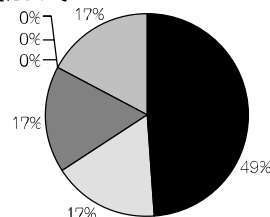
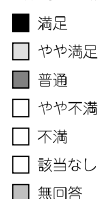
②待ち時間（観後会計まで）について



③待ち時間をどのように感じられますか



④全体的な当院の満足度について



## 院内行事

### あじさい祭



6月23日

あじさい祭

アロハグループによるフラダンスが催されました。みあげてごらん・ブルーハワイなど、素敵な衣装と踊りを堪能しました。



### 夏祭り



7月21日

夏祭り

南国民謡の皆様による歌と踊りが催されました。お米ありがとう音頭・百年桜・川船田植踊り・東京音頭・よさこい鳴子踊りなど夏らしい曲がたくさんあって、とても楽しい会になりました。

### ふれあい看護体験



8月3日

看護協会主催でふれあい看護体験がありました。将来医療関係の仕事に就きたい女子高生が3名、病院内のいろいろな部署の見学や血圧測定を体験しました。

### 編集後記

夏本番です。体調管理に注意して夏を満喫したいと思います。今年も花火大会に行きたいと思っています。夏はどのように過ごす予定ですか？楽しかった思い出を是非広報誌に寄せてください！



当院は平成15年9月22日より日本医療機能評価機構認定病院となっております。



◆ 特定非営利法人日本緩和医療学会より認定研修施設として認定されました



◆ 厚生労働省より医師の卒後臨床研修施設の認定を受けました



高知厚生病院

〒781-8121 高知市葛島1丁目9-50 Tel.088-882-6205 Fax.088-883-1655  
ホームページ <http://www.kochi-koseihp.jp>